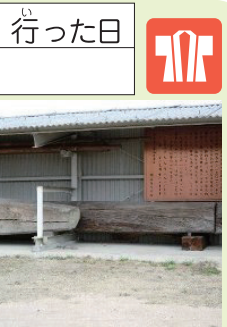


愛宕神社の火揚げ(朝日谷)

朝日谷の年中行事の一つで、8月15日の夜に行われます。昔は20mぐらいの竿にかごをつけて行っていたのですが、今は、高い柱の先にワラを詰めたジョウゴ形の竹かごとりつけて、たいまつを上に投げて火をつけます。



行った日



春日神社(山戸)

アマテラス大神のほか、アマテラス大神が率いる天孫族武將のタケミカヅチ命・フツヌシ命・アメノコヤネ命の三つの神さまがまつられています。また、境内には八幡神社・稻荷神社・金刀比羅神社もまつられています。

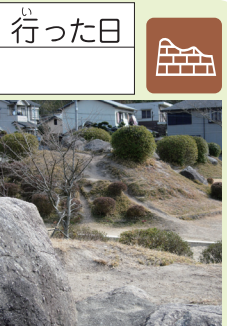


行った日



勝山町公園(丁古墳公園)

以前は100基以上の古墳がありましたが、そのほとんどがなくなりました。そのうち5基の古墳が「丁古墳公園」として保存され、石室の中にある家の形をした石の棺を見ることが出来るものもあります。なお、平成27年(2015)に勝山町ができて50周年を迎えたことを記念して「勝山町公園」と改称されました。



行った日



吉備神社の石棺橋

もとは吉備神社の南約50mのところに、用水路の橋として家の形をした石の棺の蓋石がかけられていました。すずりに形が似ているので、硯橋ともよばれていました。今は境内に保存されています。

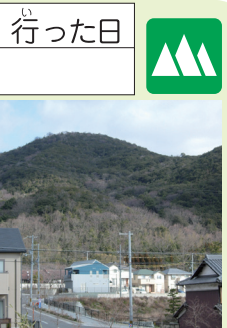


行った日



京見山

高さ216m。尾根道が整っているので、自然を観察しながら才や太子町原方面まで歩くことができます。古墳がたくさんつくりられ、また、江戸時代中ごろから大正時代には大阪堂島の米相場の情報を知らせる「旗振り通信」も行われていたといわれています。



行った日



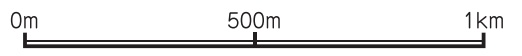
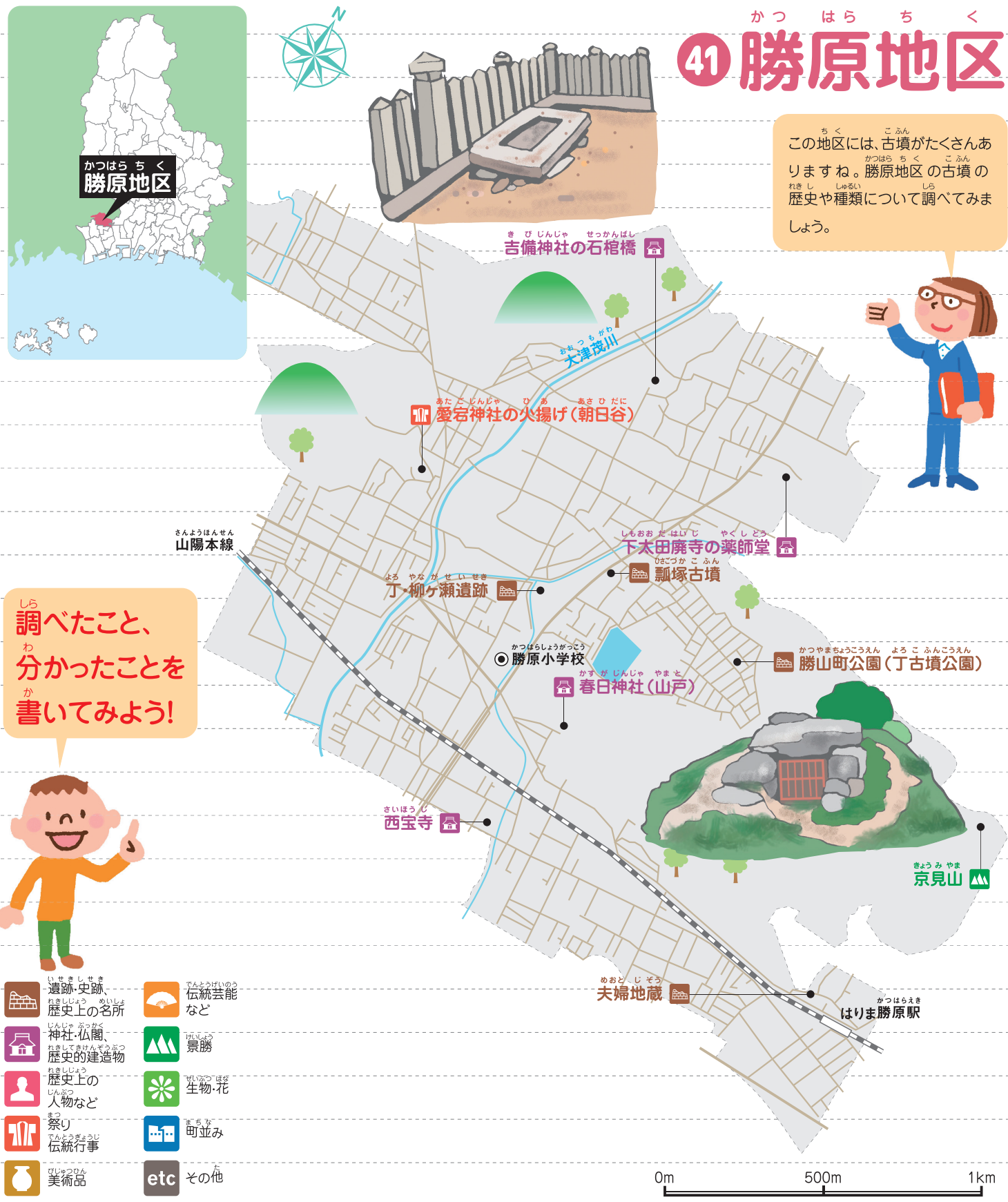
調べたこと、
わかったことを
書いてみよう!



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り、伝統行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

41 勝原地区

この地区には、古墳がたくさんありますね。勝原地区の古墳の歴史や種類について調べてみましょう。



西宝寺

欣願が開いたお寺です。その子の西道は若いころ本山の教如上人に仕えていました。正親町上皇にお目にかかった時、院で働くよういわれましたが、仏門から離れたくないと話したら、ごんのだいそうづらに選ばれ、西宝寺の名前をもらったそうです。



行った日



下太田廃寺の薬師堂

薬師堂は昭和10年代に新しくつくり直されました。周りに講堂があったといわれています。昔の薬師堂は棟札によって万延元年(1860)に建てられたことがわかります。武者絵図の絵馬や明治の礼拝姿を描いた小さな絵馬などが見られます。



行った日



瓢塚古墳

長さ約104mの前方後円墳で、古墳の丘は2段になっていて葺石があります。前方部は細くバチ形にのび、一番古い形の古墳の一つであると見られます。以前は、後円部の南あたりにたてあしきせつかく(※石でつくった棺を入れる外箱)が見られました。国が指定する史跡です。



行った日



夫婦地蔵

舟形に整えられた石に地蔵像2体が彫られ、室町時代終わりごろにつくられたと考えられています。1体は杖と宝珠を持ち、もう1体は手を合わせています。子どもを授かりたい人にご利益があるといわれています。



行った日



丁・柳ヶ瀬遺跡

大津茂川と西汐入川にはさまれたあたりに広がる複合遺跡で、縄文式土器、弥生式土器、古墳時代の初めごろの住居跡、奈良時代の墨書土器(「大伴」「棕垣」などと書かれている)、石器、木製品などが発見されています。



行った日

